

自己評価結果(令和4年度)

川辺町第2こども園

評価項目	評価内訳(割合)		
	できている	少しできている	できていない
第1章 総則 教育・保育の基本	86.3%	7.5%	6.2%
1. 教育・保育の基本	85.7%	5.4%	8.9%
2. 教育及び保育の配慮	89.3%	5.4%	5.4%
3. 教育課程・全体的な計画、指導計画作成と評価	91.4%	5.0%	3.6%
4. 特別支援教育・障がい児保育	63.9%	22.2%	13.9%
5. 「育みたい3つの資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」	64.3%	21.4%	14.3%
6. こどもの発達	96.4%	1.8%	1.8%
第2章 「ねらい」及び「内容」	88.6%	2.6%	8.9%
1. 乳児保育に関わるねらい及び内容	90.0%	0.0%	10.0%
2. 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容	96.5%	1.5%	2.0%
3. 保育の実施に関わる配慮事項(乳児・1歳以上3歳未満児)	85.0%	2.5%	12.5%
4. 3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容	84.8%	3.5%	11.8%
第3章 健康及び安全	69.7%	15.2%	15.2%
1. 健康支援	64.3%	16.1%	19.6%
2. 食育	88.6%	4.5%	6.8%
3. 環境・衛生管理、安全管理	63.0%	10.9%	26.1%
4. 災害への備え	65.4%	26.9%	7.7%
第4章 子育て支援	86.1%	5.6%	8.3%
1. 園児の保護者に対する子育て支援	90.0%	0.0%	10.0%
2. 地域における子育て支援	81.3%	12.5%	6.3%
第5章 職員の資質向上	78.3%	5.0%	16.7%
合計	84.7%	5.9%	9.3%

達成状況	できていること	できるとよかったこと
第1章 総則 教育・保育の基本	・こどもたちが生活する中で、主体的、意欲的に活動できるよう環境づくりに努めた。 ・毎日の健康状態を把握し、こどもたちが安心して園生活を過ごせるようこまめな言葉掛けやスキンシップを行ってきた。 ・専門機関からの助言等をもとにしながら一人ひとりの特性や発達の過程に応じた援助ができるように努めた。	・一人ひとりの特性や発達を理解しながら、保育内容を展開するようにしてきたが、不安や戸惑いを見せる子の姿もあり、こども達に分かり易い対応を速やかにとることができなかった。

第2章 「ねらい」及び「内容」	・食事、排泄、衣服の着脱などはこどもたちが自分ですりとする気持ちを受け止めながらいていねいな対応に心掛けてきた。 ・園内の危険な場所を確認し、こどもたちが安全に遊ぶことができるよう努めた。 ・こどもたちが遊びの中で達成感や充実感を得ることができるよう保育の環境づくりや時間、機会に配慮した。	・コロナ禍であった為、仲間と共有しながら大胆な活動や遊びを取り入れることが難しい状況もあり数多くはできなかった。 ・地域の人々とふれあう機会がなく文化についての気づきに促すことが難しいと感じた。
第3章 健康及び安全	・園での個々の健康状態や感染症に関する情報提供は保護者に速やかに分かり易く発信できるよう心掛けた。 ・室内の清掃や換気、消毒などを定期的に確認しながら、こどもたちが健康で清潔に過ごせるよう日々努めた。 ・野菜をの生長を観察したり収穫したものを各家庭へ持ち帰り食育につながりよう心がけた。	・どのような場所でどのような事故が起こりやすいのかは認識しているが、職員間でどんな状況においても速やかな対応がとれるよう再認識することが必要だと感じている。
第4章 子育て支援	・保護者が不安や心配に感じている相談内容は他の保育教諭とも共有し、園全体で理解しながら対応するようにしている。 ・子育ての相談内容について連絡帳で伝えたり、個別に時間を設け丁寧に傾聴できるよう努めてきた。	・コロナ禍の影響もあり、地域の子育て支援のための取り組みを十分に行うことができなかった。
第5章 職員の資質向上	・保育内容について職員間で話し合う機会を設け、こどもたちにとって最適な環境となるように考えてきた。 ・リモート研修を受講できるようにし、今の保育に必要なことは何かなどについて学び、職員の資質向上に努めてきた。	・職員の保育実践について、職員間で意見を出し合い更に深めていくことができるようこまめに時間を設けていくと良かった。

＜来年度取り組むべき課題及び提案＞ ・コロナ禍で様々な制限があったが、その中でもこどもたちの為にできることは何かを常に職員間で検討し、できる限り実践する方向ですすめていくよう努めてきた。 - 来年度からは、新型コロナウイルス感染症に関しての対応が変わることで園生活も新たにこどもたちとダイナミックな遊びや活動に挑戦することができるよう環境(時間と空間)を整えていく。 ・こどもたちが安心できる環境、活動が継続できる環境、試行錯誤できる環境、創造的でオープンエンドな環境を園全体で取り組み、こども達が豊かな体験を得られるよう保育環境を整えていきたい。 - これからは、さらにものや場、状況、人との関わりの中で探求的な取り組みを広げていけるようにと考えている。		
--	--	--